

熱帯医学・グローバルヘルス研究科が教育研究の中心とするのは、熱帯医学を基礎としたグローバルヘルスであり、国際舞台の現場で活躍できる人材を養成する。つまり、国際連携専攻ではないグローバルヘルス専攻であっても、その名のとおり基本的にグローバル化された教育体系を構築する必要があり、今回設置するグローバルヘルス専攻と国際連携専攻は教育内容が近いものとなる。ただし、国際連携専攻については、こちらもその名のとおり、グローバル化された教育内容を構築することとなるが、LSHTMと共同で学位プログラムを構築することから、必ずLSHTMの教員が研究指導に参画すること及びTMGHとLSHTM、引いては日英の連携を推進する人材の養成を目的とすることに大きな違いがあると言える。

	グローバルヘルス専攻	国際連携専攻(JD)
学 位	Doctor of Philosophy 博士(グローバルヘルス)	〈長崎大学長及びLSHTM学長の連名による学位〉 Doctor of Philosophy 博士(グローバルヘルス)
人材養成像	・国際共同研究等における高い次元でグローバルヘルスを理論的・実践的に研究・創造する能力を備えた実践的・社会的リーダーの養成。	・国際共同研究等における高い次元でグローバルヘルスを理論的・実践的に研究・創造する能力を備えた実践的・社会的リーダーの養成。 ・TMGH及びLSHTMのパートナーシップ、ひいては日英の連携をより強固なものへ推進する能力を持った学生の養成。
カリキュラム	・国際共同研究等に実際に学生が参加する中で指導を受ける。 ・修了単位16単位。 ・日本国内の企業等との共同研究やLSHTM以外(ハーバード大学、アントワープ王立熱帯医学研究所等)との共同研究に参画	・学生が参加する国際共同研究及び将来的に実施する研究やプロジェクトのほとんどはTMGHとLSHTMが共同で実施するものを想定しており、日英が共同で推進する研究プロジェクトや実践プロジェクトのリーダーとして推進する能力を養成するカリキュラム。 ・柔軟なカリキュラムを提供するため授業科目としての単位を課さない。
入学選抜試験	・面接 ・外国語検定試験(IELTS6.5相当) ・書類審査	・外国語検定試験(IELTS7.0相当) ・書類審査 ※必要に応じてJACの面接
研究指導体制	・チーム型研究指導体制 グローバルヘルスの3大構成要素とでも言うべき3つの異なる分野(臨床、公衆衛生、ラボ・データサイエンス)を専門とする主指導教員及び副指導教員から指導を受ける。	・チーム型研究指導体制 グローバルヘルスの3大構成要素とでも言うべき3つの異なる分野(臨床、公衆衛生、ラボ・データサイエンス)を専門とする主指導教員及び副指導教員から指導を受ける。 国際連携専攻については、上述の3分野に加え、LSHTMの強みであるグローバルヘルス政策や医療経済等も含め、指導教員のうち1名は必ずLSHTMの教員が担当する。
特 記 事 項	・LSHTM以外の大学との共同研究に参画を希望する場合や、長期での英国留学が難しい学生の受入が可能。	・LSHTMに所属する教員からの直接的な指導を受けることが可能 ・グローバルヘルス領域におけるLSHTMの評価は世界的に高く、両校学長の連名による学位を取得ができる